

平成 28 年度 第 1 回利府町総合教育会議 議事録

- 1 会議名 第 1 回利府町総合教育会議
- 2 開催日時 平成 28 年 6 月 22 日 (水)
午後 1 時から午後 2 時まで
- 3 開催場所 利府町役場 第 1 会議室
- 4 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり《傍聴者 3 名》
- 5 概要 以下のとおり

(1) 開 会

(2) あいさつ (町長：鈴木町長)

(3) 議 題 (議長：鈴木町長)

①利府町人口ビジョン及び利府町まち・ひと・しごと創生
総合戦略について

- ア. 人口の将来展望 (数値目標) について
- イ. 今後戦略的に取り組む子育て支援事業について
資料に基づき説明 (説明者：小幡政策課長)

②平成 28 年度教育委員会の事業概要について

- ア. 利府町の教育を支える組織について
資料に基づき説明 (説明者：菅野教育総務課長)
- イ. 平成 29 年度全国高等学校総合体育大会について
資料に基づき説明 (説明者：石川生涯学習課長)
- ウ. 学校施設整備に関する国庫補助金の採択状況について
資料に基づき説明 (説明者：菅野教育総務課長)

(4) 閉 会

(1) 開会【司会】

それでは、定刻となりましたので、はじめさせていただきます。
ただいまから、平成 28 年度 第 1 回利府町総合教育会議を開催いたします。

開会にあたりまして鈴木町長より挨拶を申し上げます。

(2) あいさつ (町長：鈴木町長)

本日は、教育委員の皆様には、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。昨年は教育等の振興に関する施策の大綱の策定と併せましてあらゆる分野の意思疎通、意見交換を図ってまいりました。3回目の開催となります本日は、「町は一つの学校」を理念に志教育の充実を図っている中、さらに利府町ならではの教育を推進するための教育環境の整備や、人口の将来の展望を踏まえた子育て支援事業などについて協議してまいりたいと考えております。

さて、全国ではいじめ問題や学力向上など教育に関するニュースが連日報道され、先の6月議会定例会におかれましても一般質問されておりますが、町としましてはこのような状況を鑑みまして教育委員会との連携を密にしながら子どもたちがいきいきと学校生活を送れますように教育環境の向上に取り組んでまいりたいと考えておりますので、限られた時間ではございますが、皆様の忌憚ないご意見賜りますようお願いを申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。

【司会】

ありがとうございました。

(3) 議題

【司会】

次第に基づきまして、議題に入らせていただきます。利府町総合教育会議運営要綱第3条に基づき鈴木町長が議長となり進行させていただきますので、鈴木町長よろしくお願いいたします。

【議長】 (鈴木町長)

それでは、暫時の間議長を務めますので議事進行よろしく御協力をお願い申し上げます。(1)利府町人口ビジョン及び利府町まち・ひと・しごと創生総合戦略について①、②につきましましては関連がありますので一括して事務局より説明願います。

【説明】 (小幡政策課長)

利府町人口ビジョン及び利府町まち・ひと・しごと創生総合戦略についてでございますが、国が重点課題として掲げます地方創生に向けまして本町の

長期的な人口の将来展望を示しております人口ビジョンとそれを踏まえまして平成 32 年度までの今後 5 年間に取り組むべき戦略を示した創生総合戦略を今年 3 月に策定したものでございます。これにつきましては、少子高齢化や人口減少に歯止めをかけるため町として策定しているところでございますが、創生総合戦略につきましては、子育て支援の充実のみならず教育施策の充実など教育委員会とも密接な関係がございますので、ご説明させていただくものであります。

どちらも、冊子を作成しておりますが、本日は概要版にて説明させていただきます。

資料につきましては、1 ページから 4 ページとなります。始めに 1 ページの利府町人口ビジョンにつきまして説明させていただきます。この人口ビジョンにつきましては、2060 年度までの長期的な人口の見通しを示したものであります。まず、左上の(1)としまして「人口ビジョン策定の目的」についてでございますが、本町の人口の現状と将来の姿を示すとともに今後取り組むべき将来の方向を提示することにより人口問題の認識の共有化を図り、人口問題や将来の発展を見据えた町の在り方について住民と行政とが協働して町づくりを推進することを目的としております。

次に 2 の人口の現状分析でございます。(1)の「人口動向の分析」につきまして図を掲載しておりますが、最近の人口の推移、利府町の就業者・通学者数の推移などから本町の特性といたしまして黒いひし形の部分でございますが、6 つの項目を掲げております。人口の増加幅は減少傾向で少子高齢化が進展していること、本町の人口増加は子育て世帯の転入が大きな要因であること。また、人口を維持するには、転入促進及び転出抑制による社会増と合計特殊出生率も重要なことと捉えております。

次に(2)の「将来人口推計・分析」でございます。人口推計のケース比較として箱で囲まれている部分です。ケース 1 からケース 3 ですがこれらを比較しまして将来の目標としまして本町の現状と特性さらには発展を鑑みましてケース 2 を採用していくこととしております。

続きまして、3 人口の将来展望 (1) についてでございます。先ほどお伝えしましたケース 2 が妥当性について町で行った各種アンケート調査或いは利府高校生にもアンケート調査を実施し分析しております。これらのことから、(2)「目指すべき将来の方向」①住みやすさ②子育てのしやすさ③町への愛着や誇りを持つこと④若者を応援と 4 つの項目を設定いたしまして(3)人口の将来展望の数値目標を掲げております。①の合計特殊出生率ですが平成 26 年出生率が 1.31%になっておりますが、各種施策の実施によりまして 2030 年までに 1.8%まで向上させましてそのまま 2060 年まで維持

するということです。②純移動、社会増についてであります。これまで団地の造成などにより高い数字を保っておりましたが今後減少する見込みとなりまして2060年130人の社会増とするものであります。最後に、③2060年の目標人口であります。2015年より1,300人増の約37,700人と設定しているものであります。今後は、右の図にありますように、2040年の39,245人をピークにしまして各種施策を進めても人口が減少することは避けられない状況であると、推測しているものであります。

続きまして、資料2ページの利府町まち・ひと・しごと創生総合戦略概要版でございます。この創生総合戦略につきましては、先ほど申し上げまして、人口ビジョンを見据えた計画で平成32年度までの重点戦略を謳っているものです。この戦略を策定するにあたっては、3. 本町の地域特性の分析・考察に記載しているところでありまして、本町の地域特性を強み・弱み・機会・脅威の4つに分類し整理しております。これらを4. 戦略の考え方でまとめているのが、真ん中の図となります。地域の特性を分析しまして、その中から戦略視点を抽出いたしまして5つの基本目標を掲げております。基本目標1としまして住環境の快適性・利便性の向上、そして基本目標2として子育て支援の更なる充実、基本目標3としまして協働の新たな基盤づくり、基本目標4としまして本町の立地性・交流を活かした産業の創出、基本目標5として独創的なシティセールスの展開などを掲げまして、さらにこれらの基本目標の達成に向け核となるプロジェクト「人と人をつなぐ想いと想いをつなぐ未来につなぐ『TSUNAGARI-fu』」を右下図プロジェクトの展開イメージにより具体的な施策の推進を図っていくこととしております。

次に、3ページをお開き下さい。只今説明しました5つの基本目標と具体的な施策を掲載しております。実施内容につきましては特に教育委員会関係を中心としまして説明させていただきます。基本目標1、住環境の快適性・利便性の向上につきましては、住みやすさを一層向上していくため交通環境の充実・強化や文化複合施設の整備、定住人口の確保に向けた多様な住宅供給の推進を図っております。次に基本目標2、子育て支援の更なる充実についてでございますが、離婚率の改善と出生率の向上とともに、安心して子育てができる環境の充実を図ってまいります。関連部分といたしましては、子育て世帯の経済的負担軽減のため、小中学校入学支援事業の推進と放課後の子どもの居場所づくりといたしまして今年度から新たな事業として放課後子ども教室を開催し推進していくこととなります。基本目標3、協働の新たな基盤づくりですが、地域行動力の向上を推進するとともに世代間地域間の交流の推進を図ってまいります。関連部分といたしましては、社会教育団体の育成、団体運営に対する補助事業の推進と、スポーツ交流フェスティバルの

充実、さらには「町は一つの学校」の理念のもとに志教育ブラザーシップ事業或いはキャリアシップ事業などの一層の充実を図っていくこととしております。基本目標4、本町の立地性・交流を活かした産業の創出についてであります。本町は仙台市に隣接しているとともに町内4つのインターチェンジと3つのJRの駅を有する立地性を活かして新たな産業の創業支援や交流人口の拡大を推進してまいります。基本目標5、独創的なシティセールスの展開についてであります。本町の強みであります住みやすさや子育てしやすさを十分にPRしまして地域の特性を活かしたシティセールスの強化を図ってまいります。

最後に4ページをご覧ください。こちらにつきましては、事業ごとの達成目標を数値化した一覧になります。事業ごとに目標値などを設定しております。以上簡単ではございますが説明を終わります。よろしくお願いいたします。

【議長】（鈴木町長）

事務局から説明がありましたが、これについて御意見を賜りたいと思えます。まずはじめに遠藤委員からご意見を申し上げます。

【教育委員】（遠藤委員）

住みやすい町であることが説明でわかりました。強みをセールスポイントとしてPRしていただき、利府の梨をブランドとして構築していくことは私としましても今後必要であると思っております。学校の教育につきましては、児童数が町全体では減少傾向ですが、学校訪問してみて利府第三小学校など児童が校庭一杯になるなど児童数は増加傾向なのではと感じました。

今後地域と結びついた活動を通して、利府町ならではの教育を一層充実させることも、セールスポイントとなるのではないかと感じております。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございました。町内各小学校の活動が河北新報へ掲載されておりますことは、素晴らしいことです。

続きまして、高橋委員申し上げます。

【教育委員】（高橋委員）

すばらしい総合戦略です。

子育て支援の更なる充実から利府町では待機児童がゼロであることはすばらしいと思えます。貧困世帯など騒がれておりますが保育料など料金のことと思えます。個人の考えですが、保育料については町からの補助を受けるなど低料金で入所できるように住みやすい環境整備を推進していただきたいと思えます。また、医療費の助成については、中学3年生まで外来は500円で入院は無料ですが、入院も外来も無料となっている市町村もありますので、

町としても同じように無料になるように努力していただきたいと考えております。

次に、交通アクセスについてです。住民のほとんどの方が感じているかと思いますが、グランディにてイベントがありますとすぐ交通渋滞となってしまう、このことは住んでいるものが不便さを感じているもので岩切からの直線道路など工夫が必要ではないか。町民バスの活用も工夫が必要ではないかと感じております。

【議長】（鈴木町長）

待機児童については、日々増加してきております。認可保育所（民設民営）の整備も努めております。また、保育料については、所得に応じた対応をしております。乳幼児医療についてであります。各市町村無料が競争化しておりますが、町でも10月から18才まで医療費助成拡大を行うこととしております。続いて石川委員をお願いします。

【教育委員】（石川委員）

2ページにあります6年間の計画期間とありますが、企業では中長期計画となりますが、短期間で行った方が良くはないかと思っております。

しらかし台団地も少子高齢化となってきましたが、ふるさとスポーツ祭など参加者が少なくなってきたかと思っております。総合的に転出等の人口移動もあり利府町ひと・まち・しごと創生総合戦略を6年間で実践するのは難しいのではないかと考えます。いかに早急にやっていくかが課題となってくると思っております。

私も公共交通機関の整備については必要な部分になると思っております。また、乳幼児医療の制度につきましても、保護者もとてもありがたいことであると感じております。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございます。JRについては、乗客の伸びが無いということで増便はなされませんでした。しかしながら、利府街道沿いの開発に合わせJRの整備も行われる予定であり、その開発に併せてバス運行の充実も進められるものであります。

続きまして、加藤委員をお願いします。

【教育委員】（加藤委員）

展望についてホームページを閲覧していたら、リフコラボをフェイスブックなどで紹介していることはとても素晴らしいことであると思っております。

利府町に住んでいる奥様方や若い世代をターゲットに、自分も関わりを持って活動していけるような繋がりや情報の共有をわかりやすく進めていただきたいと思います。感じております。

【議長】（鈴木町長）

このことにつきましては、担当班の政策班長より説明願います。

【事務局】（鎌田政策班長）

リフコラボスタジオについてですが、先日、河北新報にも掲載されましたが、今回は、若者や子育て中のお母さん方などをターゲットに創業の支援施設として、日中に集まる場を設け何かを創業しようという気運を高めるための支援施設を若い方々の発想を入れながら提供しております。1 回目のワークショップでは 40 名程の方々に参加していただきました。今後は駅前にカフェ機能も併設した施設を造っていければと考えております。

また、石川委員の意見にありました計画期間についてですが、国の総合戦略は5年と示されております。その期間において、どの程度成果に現れるかについては、短期間で実施できるものと長期間必要な事業とございます。それぞれの事業においては、誰をターゲットにするのかなどを話し合いながら、世代に合った事業の展開を進めてまいりたいと思います。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございました。続きまして、本明教育長お願いします。

【教育長】（本明教育長）

資料の1 ページ、人口の将来展望の利府校生のアンケート中、利府町の生徒が 25%おります。約 200 名のアンケートの回答の中で、活気がある、医療機関が充実している、自分の育ってきた利府町に愛着があるから、など教育行政に携わるものとしてこの計画の中で細かく見ていきますと、4 ページ K P I の欄です。教育委員会として担当部局を見ますと、目標値を達成できるような努力をしなければならない、目標値に近づくよう事業を進めていく他、平成 25 年度に利府町教育基本計画を策定し 5 年ごとに見直しを行うこととなっておりますので、町の総合戦略に合わせた教育の基本計画を考えていかなければならないと思っております。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございます。

続きまして、（2）平成 28 年度教育委員会の事業概要の①から③について事務局説明をお願いいたします。

【説明】（菅野教育総務課長）

資料の 5 ページをお開きください。平成 28 年度教育委員会の事業概要となります。平成 28 年度においては、町の予算 14,960,000 千円、うち教育費 2,092,400 千円で全体の 14%と高い割合で採択されております。町単独事業として、39 件、6 ページには補助事業 7 件トイレや大規模改修を記載してあります。資料 7、8 ページには、部門ごとにわかりやすく作成いたしました。

利府町の教育を支える組織としまして、資料の 9 ページをお開き下さい。これまで、委員会主体にて行われてきておりましたが、学校現場主体により教職員の資質向上を通し、児童生徒の学力向上など、現場の意見や情報の共有を図るため、利府町教育推進会議を開催し、またいじめ・不登校対策として利府町生徒指導対策委員会等を開き、生徒指導上の諸問題など情報の共有化を図り、不登校ゼロを目指し取り組んでおります。以上が①でございます。

【説明】（石川生涯学習課長）

資料 11 ページをお開き下さい。平成 29 年度全国高等学校総合体育大会につきまして説明いたします。昨日、実行委員会設立総会及び第 1 回総会が終了いたしました。概要につきましては、実施期間は、平成 29 年 7 月 28 日（金）から平成 29 年 8 月 20 日（日）まで、実施競技種目は、バレーボール（女子）・サッカー・アーチェリー・水泳の 4 競技となっております。今後は、県及び競技団体と競技運営の調整、各種業務マニュアルの作成、運営費等の積算その他準備に係る事項につきまして業務を進めてまいりたいと考えております。

また、今年度は、広島県及び山口県において競技が開催されますので開催状況の調査及び事後調査を実施いたしまして万全を期していきたいと考えております。なお、来年度の大会実施においては、長期の開催期間となりますので町職員による実施本部を設立し、各課職員の協力をお願いすることとなります。大会開催での宮城県への支援につきましては、今後引き続き要望してまいりたいと考えております。

【説明】（菅野教育総務課長）

資料 12 ページ国庫補助事業についてでございます。利府小学校校舎建替え事業の国庫補助金につきまして不採択との通知がまいりました。補助事業につきましては、採択されるであろうと認識しておりましたが、このような事態となり、町長の指揮のもと文科省への要望活動を行った結果、追加内示されました。また、トイレ改修事業につきましても、採択されている状況です。

【議長】（鈴木町長）

説明ありがとうございました。これまでの説明について御意見等お願いいたします。遠藤委員お願いします。

【教育委員】（遠藤委員）

利府町教育推進委員会については、とても素晴らしい事業であると思います。この事業により、先生方が多忙化しないように進めていただければと思います。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございました。高橋委員お願いします。

【教育委員】（高橋委員）

意見ではなく感想となります。利府町教育推進委員会が今後充実されることを期待いたします。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございました。石川委員お願いいたします。

【教育委員】（石川委員）

高橋委員と同じ意見であります。利府町教育推進委員会を活用し、いじめ不登校を無くしていただきたいと思えます。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございました。加藤委員お願いいたします。

【教育委員】（加藤委員）

利府町教育推進委員会により各校ごとの学力の差が少しでも無くなることを期待します。

【議長】（鈴木町長）

ありがとうございました。

【教育長】（本明教育長）

7 ページにあります志教育において、新たにコミュニティシップにより地域貢献活動を実施しております。なお、本年度より利府町教育推進委員会を設置し、専門員 2 名により事業を推進し、校長会と専門員、委員会とで利府町の教育について意見交換会を実施しております。様々な点でご指摘を頂ければ対応してまいりたいと考えております。

【議長】（鈴木町長）

総合的に私から挨拶いたします。教育委員会及び学校職員の方々の尽力のおかげをもちまして本町の児童生徒が問題なくすくすくと育っていること、ここまで何の不祥事もないことは職員の方々の指導の賜と感じております。今後も引き続き児童生徒の指導をお願いいたします。それでは事務局にお返しいたします。

（４）閉会

【司会】

以上をもちまして、平成 28 年度 第 1 回利府町総合教育会議を終了いたします。なお、第 2 回利府町総合教育会議につきましては、平成 29 年 2 月を予定しておりますのでよろしくお願い申し上げます。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございました。